

地震に備えよう！

安城市は、東海地震が発生した場合、震度6弱以上の揺れにより著しい被害が予想される地域として、「地震防災対策強化地域」に指定されています。明日起きてもおかしくないともいわれる東海地震。地震を防ぐことはできませんが、日ごろの備えから、被害を最小限に抑えることはできます。いざというときに、自らの、そして家族の命を守るために、今できることは何でしょうか。今一度、地震について考え、家族で話し合ってみませんか。



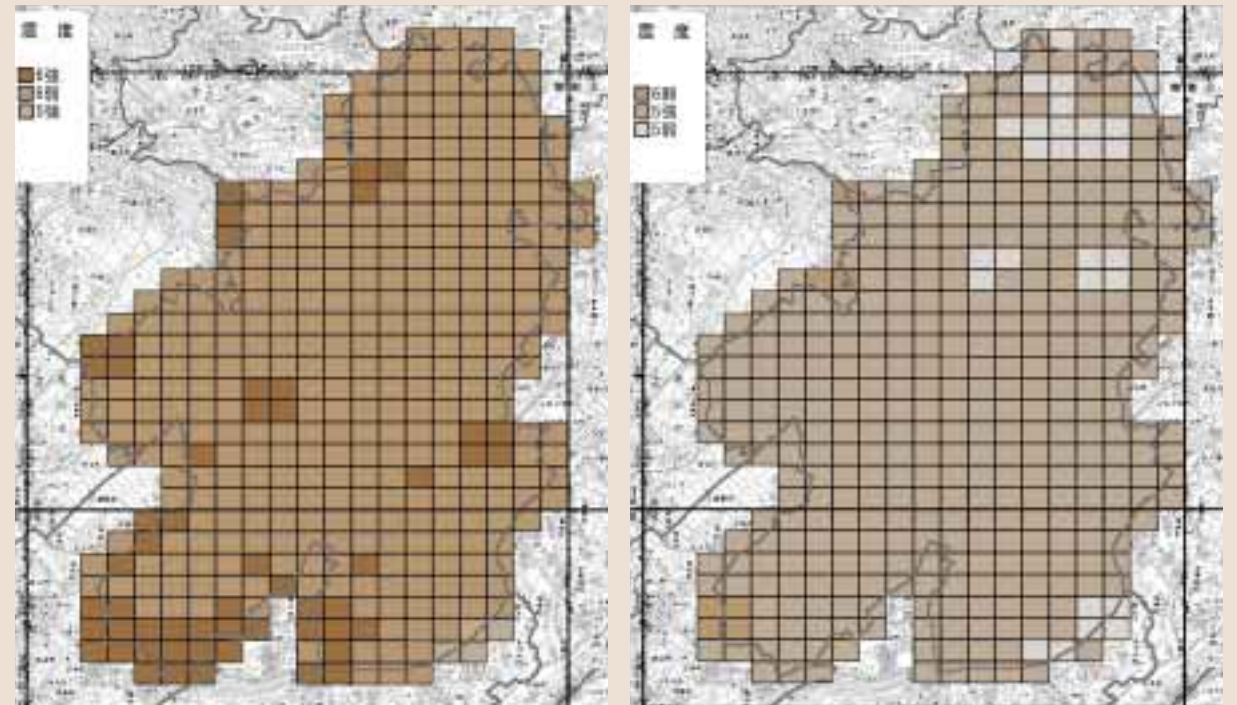
東海地震・東南海地震の震度分布

静岡県西部・駿河湾付近を震源域とする東海地震は、いつ発生してもおかしくない状況です。このほか、浜名湖沖から紀伊半島沖までを震源域とする「東南海地震」、紀伊半島沖から四国沖までを震源域とする「南海地震」などの大地震発生も指摘され、それらが連動して起きる可能性もあります。

愛知県の調査による市内を500m四方で分割した震度分布予測（下図）では、東海地震の場合、市内の2%程度の地域で震度6弱、大半の地域で震度5強の揺れが予測されています。しかし、東南海地震と連動して発生した場合には、市内のほぼ全域で震度6弱以上の揺れが予測され、震度6強の地域も14%にのびります。

震度6弱とは
立っていることが難しい。固定していない重い家具の多くが倒れる。多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスなどが破損、落下する。耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。家庭などにガスを供給するための導管、主要な水道管に被害が発生し、一部の地域でガス、水道の供給が停止し、停電することもある。

安城市内の震度分布予測（愛知県／平成15年5月公表）



想定東海地震・東南海地震連動による震度分布

想定東海地震による震度分布

被害軽減のために

無料耐震診断と耐震改修費補助

市は、昭和56年5月31日以前の旧建築基準により建てられた民間木造住宅を対象に、無料耐震診断の申し込みを今後も引き続き受け付けます。希望する人は建築課へ申請してください。申請書（簡易耐震診断票）は、同課と各地区公民館にあります。また、市ホームページの建築課のページ、昨年の本紙8月1日号とともに全戸配布したリーフレットでも申請できます。

なお、耐震診断の結果が0.7未満の建物を、総合判定1.0以上になるように改修する場合には、その改修費を補助する制度（上限60万円）がありますのでご利用ください。

建物の耐震化

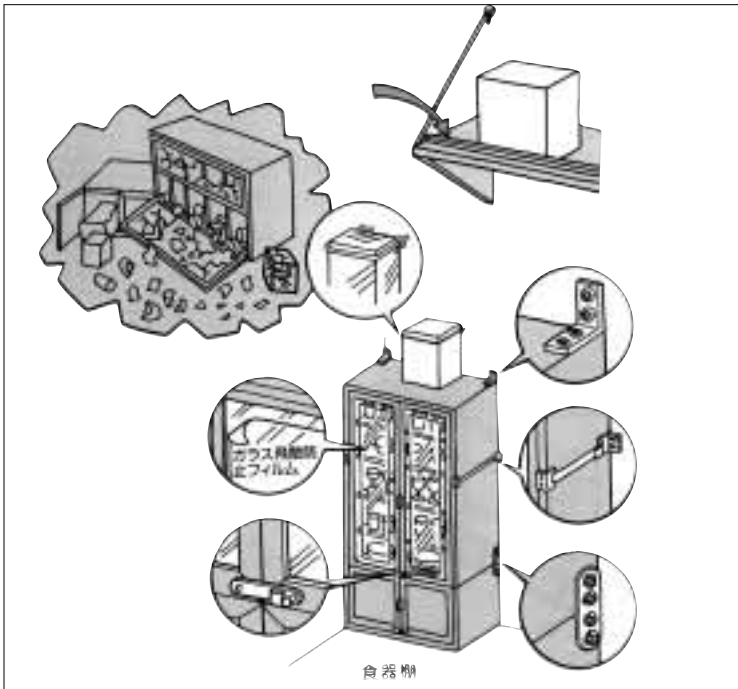
阪神・淡路大震災では犠牲者の8割以上が建物の倒壊などによるものであったことを考えると、住宅や公共施設などの耐震化が必要です。市は、地震の被害を最小限に抑えるために次の事業を実施しています。■市有公共施設の耐震診断今年度中に、診断の必要なすべての施設を実施します。

家具の地震対策

■小中学校の耐震補強工事など
桜町小中学校と安城西中学校の改築工事を行うほか（昨年度から継続）、補強の必要な校舎25棟（15校）のうち6棟の補強工事の設計を行います（来年度工事予定）。

奥行きがなく、高さの高い家具は、地震時に転倒しやすくなります。家具が転倒しない場合でも、引き出しが飛び出したり、観音開きの戸などが開いて中の物が落下したり、食器やびんがガラス戸にぶつかってガラスが割れて飛び散ったりします。

家具以外にも、ピアノ、オルガンなどの楽器類、掛け時計や額などの柱や壁に掛けてある装飾品、シャンデリアなどは、地震により、転倒、落下、あるいは移動し



たりして危害を及ぼす恐れがあります。

- 家具は倒れないように金具などで柱などに固定しましょう。
- 家具の上の置物や棚の物が落ちないように奥の方に置いたり、ひもで留めたりしておきましょう。
- 掛け時計や電灯などは金具を用いてしっかり留めておきましょう。
- 石油ストーブなどの火気器具は、家具などが転倒、落下してくる恐れのある場所を避けて使用しましょう。

総合防災訓練を実施しました

8月30日に東山中学校で、地域の自主防災会や防災関係機関などの参加のもと市の総合防災訓練を行いました。訓練では、発生が懸念されている東海地震をはじめとする大規模地震での被災を想定し、避難、炊き出し、電力・ガスの復旧、消火などの各種訓練を行いました。

災害時には、近隣の助け合い、ボランティアの活動は必要不可欠です。訓練では、自主防災会の人々が災害弱者となる高齢者や障害のある人のもとに駆けつけ、一緒に避難する訓練のほか、駆けつけたボランティアの活動が円滑にできるように、ボランティアと被災者を仲介する訓練なども実施しました。参加者は、来るべき災害時に役立つようにと、真剣な表情で取り組んでいました。



地域の災害対応力の強化

自主防災活動に参加を

災害が発生したとき、防災関係機関は、被害を最小限に食い止めようと全力で取り組みます。しかし、阪神・淡路大震災のような広域的で甚大な被害が発生すると、発生直後は行政が行う公助による被災者対策には限界があり、地域の人々による自助、共助が極めて重要であることを教えられました。

このようなときに、まず頼りにできるのは隣近所の人同士であり、その協力体制を組織化しておくことがいざというときに役立つであろうと、市内全域の72地区で自主防災会が組織されています。

各自主防災会では、避難訓練や初期消火活動などを行っています。昨年度は事前に避難所生活を体験しようというNPO法人（特定非営利活動法人）の協力のもと避難所体験訓練も実施されています。

皆さんも、いざというときのために訓練に参加し、地域ぐるみでの防災意識の向上に努めましょう。

地域の防災力向上のために

市は、地域の防災力を向上するために、次の事業を進めています。

日ごろから備えを

「自らの命は自らで守る」という心構えで、日ごろからの備えを万全にすることが大切です。

そのために、地震から身を守る10のポイントをお知らせします。

- 1 まず身の安全、家族の安全
- 2 素早く火の始末
- 3 戸を開けて避難口を確保する
- 4 火が出たら、すぐ消火
- 5 あわてて外に飛び出さない
- 6 狭い路地やブロック塀には近付かない
- 7 避難に車は使わない
- 8 地域ぐるみで助け合う
- 9 テレビ、ラジオなどで正しい情報をつかむ
- 10 津波、土砂崩れなど、旅行先でも災害は起きることを忘れずに

東海地震に関する警戒宣言が発表されたときには落ち着いて行動できるよう、また、デマなどの間違った情報に惑わされないようにし、家族で災害のときの避難場所や役割分担、連絡方法なども決めておき、折に触れて確かめ合っておきましょう。また、日ごろから住宅の耐震化や家具の転倒防止など、安全対策を進めましょう。

■自主防災活動の支援

NPO法人の協力による防災訓練や、防災リーダーなどを対象に講演会を実施するほか、自主防災組織ごとに避難所など防災関係施設、危険箇所などを記載した地域防災マップの作成への補助をします。

■避難所などの整備、備蓄品の確保
広域避難場所（3か所）、一時避難地（84か所）に新標識を設置するほか、基幹避難所に車いす対応型災害用トイレを備蓄します。

■高度情報通信ネットワークの整備
災害時における県及び市町村との防災情報の収集伝達体制の強化のために、現行の地上の中継局を介しての無線のバックアップ回線として衛星を介する無線を整備します。

災害時の身近な情報は
わたしたちのまちの情報源
Pitch FM (83.8MHZ) で

Pitch FM（ピッチエフエム）は、地域の身近な情報を毎日放送しています。

そして地震や台風などの災害時には、わたしたちのまちの被害状況や避難所の状況などをきめ細かくお知らせしています。

主な非常時物品チェックリスト

非常持ち出し品（すぐ持ち出すもの）

非常食

- ☐ミネラルウォーター ☐乾パン
- ☐栄養補助食品 ☐缶詰め ☐缶切り
- ☐割りばし ☐紙皿・紙コップ
- ☐粉ミルク・ほ乳びん

救急医薬品

- ☐ばんそうこう ☐包帯 ☐きず薬 ☐消毒薬
- ☐風邪薬 ☐胃腸薬 ☐目薬 ☐持病の薬

電化製品

- ☐懐中電灯 ☐携帯ラジオ ☐電池

貴重品

- ☐現金（10円など小銭も） ☐預貯金通帳
- ☐印鑑 ☐運転免許証・健康保険証
- ☐各種権利証書

その他

- ☐ヘルメット（防災ずきん）
- ☐ライター・マッチ ☐下着 ☐軍手
- ☐タオル ☐生理用品 ☐紙おむつ
- ☐ティッシュ・ウェットティッシュ
- ☐筆記用具 ☐笛（ホイッスル）

非常備蓄品（最低3日分の生活用品）

非常食

- ☐ミネラルウォーター
（1人1日3リットルが目安）
- ☐乾パン ☐アルファ米 ☐缶詰め
- ☐レトルト食品 ☐インスタント食品
- ☐チョコレート・ビスケット
- ☐梅干し ☐調味料

燃料

- ☐卓上コンロ ☐携帯コンロ
- ☐ガスボンベ ☐固形燃料

その他

- ☐新聞紙 ☐洗面用具 ☐衣類 ☐雨具
- ☐毛布 ☐寝袋 ☐地図 ☐なべ・やかん
- ☐プラスチック製タンク ☐大きなごみ袋
- ☐トイレットペーパー ☐ロープ
- ☐ガムテープ ☐ドライシャンプー
- ☐使い捨てカイロ ☐スコップ・バール
- ☐予備のめがね

定期点検を忘れずに！

避難所マップ

○避難所

●広域避難場所



- | | |
|-----------|-----------|
| ①北部公民館 | ⑳安城南高等学校 |
| ②里町小学校 | ㉑市総合運動公園 |
| ③志貴小学校 | ㉒市役所・安城公園 |
| ④安城北部小学校 | ㉓秋葉公園 |
| ⑤東山中学校 | |
| ⑥作野公民館 | |
| ⑦今池小学校 | |
| ⑧作野小学校 | |
| ⑨篠目中学校 | |
| ⑩東部公民館 | |
| ⑪安城東部小学校 | |
| ⑫安城東高等学校 | |
| ⑬中部公民館 | |
| ⑭安城中部小学校 | |
| ⑮新田小学校 | |
| ⑯安城北中学校 | |
| ㉔市体育館 | |
| ㉕安城農林高等学校 | |
| ㉖文化センター | |
| ㉗桜町小学校 | |
| ㉘錦町小学校 | |
| ㉙市民会館 | |
| ㉚昭林公民館 | |
| ㉛安城南中学校 | |
| ㉜赤松保育園 | |
| ㉝安城高等学校 | |
| ㉞安祥公民館 | |
| ㉟祥南小 | |
| ㊱安城南小学校 | |
| ㊲安祥中学校 | |
| ㊳ゆたか保育園 | |
| ㊴西部公民館 | |
| ㊵安城西部小学校 | |
| ㊶高棚小学校 | |
| ㊷三河安城小学校 | |
| ㊸安城西中学校 | |
| ㊹みのわ保育園 | |
| ㊺えのき保育園 | |
| ㊻二本木公民館 | |
| ㊼二本木小学校 | |
| ㊽みその保育園 | |
| ㊾南部公民館 | |
| ㊿文山小学校 | |
| 1明和小学校 | |
| 2明祥中学校 | |
| 3城ヶ入保育園 | |
| 4桜井公民館 | |
| 5桜井小学校 | |
| 6桜井小学校 | |
| 7桜井中学校 | |
| 8三ツ川保育園 | |
| 9安城南高等学校 | |

危機意識をもって

万全の備えを

安城市長 神谷 学



本市は、東海地震が発生したときに著しい地震災害が生ずるおそれがあるため、「地震防災対策強化地域」の指定を受けています。

わたしたちは、8年前の阪神・淡路大震災の教訓として、自助・共助がきわめて重要であること、また、広域災害に対しては地域の災害対応力の強化が不可欠であるとの認識を得ました。本市は、自主防災リーダー研修事業を進めるなど、自主防災リーダーの育成と自主防災活動の活性化を図り、地域の災害対応力の強化を目指しています。

また、いざというときには、ご自分や家族の安全を確保していただくことが大切です。家具の転倒防止や市で実施している木造住宅の無料耐震診断、耐震改修費用の補助をご利用いただき、住まいの安全を確保してください。あわせて、ご家庭での非常食の備蓄など、災害の発生に備え、日ごろからの準備をお願いします。